

Peace Now! No.10

2024

Peace Now! Hiroshima 2024 開催報告



Peace Now!2024のテーマ

対話を通して「つなぎ・広げる」
一人ひとりの想いがはじまり

過去・想い・人のつながりを広げ、
これらにつなげていくための
「対話」を実践していきましょう！

-ヒロシマ- 獲得目標

- ✓ ヒロシマの過去を疑似体験から学び、ヒロシマの地で平和を考える意義を理解する
- ✓ さまざまな人の想いに触れ、対話をしながら自分が考える平和を確立する
- ✓ 平和について考え続け、実現していくために周りの人にも広げられるようになる

日時 9月3日(火)13:00 ~ 5日(木)15:00

場所
・1日目はTKPガーデンシティ広島
・2、3日目は広島市青少年センター
・フィールドワーク（平和記念資料館、原爆ドーム、広島平和公園周辺）

参加者 46名
北海学園(1)山形(1)岩手(1)東京(2)宇都宮(1)三重短期(1)近畿(1)岐阜(1)愛知教育(2)愛知県公立(2)広島(3)広島修道(2)福山市立(3)山口(1)山口県立(1)愛媛(1)松山(2)徳島(4)宮崎(1)長崎(1)長崎県立(1) ブロック学生事務局(9) 連合会(4)

企画内容～参加者の様子～

00 事前学習会 日時：8月7日(水) 18:30～20:30
形式：オンライン(Zoom)

【企画局長より】

PN!Hiroshima2024の企画局長より、企画の趣旨や込めた想いが語られ、実行委員が対面やオンラインでつくってきた様子も伝えられました。

【動画視聴聴(国立広島原爆死没者追悼平和祈念館企画展)】

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に行われている企画展示映像がHP上でも公開されています。事前学習として広島県江田島に集められた少年兵たちが語る当時のヒロシマを学びました。ぜひ学習の一つとしてご覧ください。

【平和記念式典を観よう】

8月6日は平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）の日。当日撮影された映像を視聴し、考えたことを交流しました。

当日の様子は、次のページをチェック♪



企画内容～参加者の様子～

01 被爆者講話～わたしたちは同じ核時代を生きている～



1日目は、広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会の田中さんにお越しいただき、被爆当時の様子やこれまでのご経験をお話いただきました。「わたしたちは同じ核時代を生きている」と語る田中さんの体験は参加者にとって、視野を広げる貴重な経験となりました。

核兵器禁止条約はゴールではなくスタートだと仰っていたのがとても心に残った。確かに、条約を結んだからといってすぐに核が無くなるわけでもないなと感じた。その意味ではまだ私たちはスタートにも立てていない。まずは世界が同じスタート地点に立ち、同じ方向に向いていくことを願うばかりです。そのために、小さなことでも私達ができることを考えたい。(広島修道3年)

02 平和記念資料館見学～残されたもの、残してきたもの～

被爆者講話を聞いた後は平和記念資料館へ。初めて訪れた人もいれば、中学生以来だという参加者も。被爆によって多くの人や建物、物がなくなった中、残された人々が何を残してきたのでしょうか。丁寧に解説・展示されている資料館には、大学生になった今だからこそその「気づき」もありました。

資料館見学にて自分の生活の中で起こりえない事が一つの原因によって起きているということが本当に自分の生活のありがたみがわかった。また**本当の強さは核兵器や武器を持ち脅威を示すことではなく、協調性を持ちながら活動することではないかな**と思った。(松山大3年)



03 フィールドワーク～ヒロシマの地を感じる～



2日目の朝に平和記念公園周辺にある戦跡や被爆遺構を実行委員が解説をしながら見て回り、被爆者講話で聞いた話や平和記念資料館で見たものを重ね合わせました。広島の人々が悩みながらも残してきた原爆ドーム、二度と過ちを繰り返さないと記された慰霊碑、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願う灯。最期まで水を求めていた犠牲者を慰める想いが込められた数々のシンボルや像。被爆79年が経った今でも広島市民の生活の一部にもなっている遺構は、言葉がなくとも私たちに戦争の悲惨さを語りかけています。

04 ぴーすインタビュー～言葉も世代も超えて～

3日目の朝には、平和記念公園周辺でインタビューを行いました。外国の方や大学生以外の方の声や考えを聞きました。生活背景もヒロシマや平和に対する想いも、人によって違います。想いや考えを聞くことで、自分の考える平和観や今後の活動の一步となるインタビューになりました。



日本人から平和について「難しい」という回答をされた。それは、平和について普段からあまり考えていないという現状のためでは

01 企画①原爆とヒロシマ

2日目に行った企画①「原爆とヒロシマ」では過去について考える時間となりました。被爆者講話、資料館での学び、フィールドワークで体験したことも踏まえて語り合いました。

日本が受けた被害の面だけでなく、加害についても着目し**多角的な視点**からヒロシマで何が起こり、何をしたのかを捉えました。

また、**なぜヒロシマで学ぶのか？どんなおもいを紡いで、今の「平和都市」広島があるのか？**原爆死没者慰霊碑に刻まれている「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませぬから」という言葉は誰が誰に向けている言葉なのか？過ちとは何かを話し合いました。平和都市として、また多くの被爆遺構を守る広島に住む人々の葛藤や覚悟についても考えを交流しました。

加害と被害

- ・加害の面と被害の面を両方見ること、戦争への理解が深まる
- ・**平和**について考えるために、戦争(歴史)を**多角的**に学び理解を深め、自分の意見を持つことが大事!!

GW2

こんなに広島という街が平和への願いを繋ごうとしているのはなぜだろう

15 min

周りに伝えることが大事!

過去を知り、現在を知り、
私たちが対話を通して伝えていく!

現在において「平和」を脅かすのは戦争や紛争だけではない。
労働搾取や感染症、地球温暖化など世界の人々の「平和」を脅かす問題はたくさんある。

これについて考えた

02 企画②私たちと平和

2日目に行った企画②「私たちと平和」では現在について考える時間となりました。過去を学び、**今を生きる私たちも平和をつくり未来の一員である**ことを実感する機会になりました。

過去(戦争や紛争、私生活)と現状(戦争や紛争、私生活等)を理解するところから始まりました。普段の生活や自分自身の幸せだと感じるときに立ち返り、その幸せがどのように成り立っているのか、分析をしました。

現在において「平和」を脅かすのは戦争や紛争だけではなく、労働搾取や感染症、地球温暖化など世界の人々の「平和」を脅かす問題はたくさんあることに着目しながら、日々の生活の中に少しでもできることを見つけて取り組むことが、「平和」につながるのだと確信をもって対話をしました。

03 企画③One is Small, but NOT Powerless!

3日目に行った企画③「One is Small, but NOT Powerless!」で未来について考える時間となりました。企画①から昔の立場に立って見ることの大切さを学び、企画②から社会問題や平和を解決していく際に当事者意識を持つ大切さを学びました。**想像が難しい未来であっても、今のうちから考えておくことでより良い”自分の”今を生きる**ことにつながります。実際に平和活動の実例を聞き、平和に向けて行動するヒントを得ました。

実現可能な行動を起こすため、ポイントを押さえながら行動計画を立てました。

最後に、自分の考えた平和宣言を折り鶴に託し、これからの行動を誓い合いました。

GW3

SMART-Eってなに??

だからこそ...

夢物語で終わらせないで、**実現可能な行動を起こす**ために6つのポイントを抑えて欲しい!

GW1 まとめ

過去、現在パートでも学んだように...

過去や現在の出来事は自分に無関係ではない!
当事者意識をもって自分ごととしていかなくてはならない!

↓

だからこそ、想像が難しい**未来**であっても、今のうちから考えておくことでより良い”自分の”今を生きることにつながる!

実行委員長より

2025年は被爆・終戦80年の節目の年となります。私たちはいま一度、世界ではじめて被爆した都市、広島で生活とともに戦跡が守られ続けていることを考える必要があると思いました。中学・高校などの平和学習では気が付かなかった、大学生になった自分視点で触れる戦争の悲惨さ、人・もの・豊かな自然さえも壊滅状況に追い込む、絶対悪の核兵器の恐ろしさ。2度と繰り返してはいけません。

最後に、当日の活発な交流で学びあいを広げてくれた参加者・グループリーダーのみなさん、約6カ月に渡る学びづくりをしてくれた8人の実行委員のみなさん、成功に向けてご支援してくださったみなさん、誠にありがとうございました! これからも「よりよい生活と平和」を私たちの手で創り続けていきましょう。



発行元：全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者：戸張桜 (全国学生委員会)

お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局 (nfuca-PeaceNow@univ.coop)